

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 1 月 11 日 (2022.1.11)

【公開番号】特開 2019-165962 (P2019-165962A)

【公開日】令和 1 年 10 月 3 日 (2019.10.3)

【年通号数】公開・登録公報 2019-040

【出願番号】特願 2018-55685 (P2018-55685)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 12 月 3 日 (2021.12.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

可動演出部材を備えた遊技機において、
前記可動演出部材を第 1 形態と前記第 1 形態とは前側から見た形状が異なる第 2 形態と
に変化させる形態可変機構を備える遊技機。

【請求項 2】

前記可動演出部材は、
支持ベースと、
前記支持ベースに支持されて、前側から見て前記支持ベースに重なる第 1 待機位置と、
前側から見て前記第 1 待機位置よりも前記支持ベースからはみ出す第 1 演出位置と、の間
を移動可能な第 1 可動体と、
前記支持ベースに支持されて、前側から見て前記支持ベースに重なる第 2 待機位置と、
前側から見て前記第 2 待機位置よりも前記支持ベースからはみ出す第 2 演出位置と、の間
を移動可能な第 2 可動体と、を備え、

前記形態可変機構は、前記第 1 可動体を前記第 1 演出位置に配置し且つ前記第 2 可動体
を前記第 2 待機位置に配置して前記可動演出部材を前記第 1 形態にし、前記第 1 可動体を
前記第 1 待機位置に配置し且つ前記第 2 可動体を前記第 2 演出位置に配置して前記可動演
出部材を前記第 2 形態にする、請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記可動演出部材は、
支持ベースと、
前記支持ベースに支持されて待機位置と演出位置との間を移動可能な可動体と、
前記支持ベースと前記可動体における所定の部位同士を接続する接続部材と、を備え、
前記接続部材は、前記可動体の移動に伴って伸縮する、請求項 1 又は 2 に記載の遊技機

。

【請求項 4】

前記可動演出部材は、
支持ベースと、
前記支持ベースに支持されて待機位置と演出位置との間を移動可能な可動体と、
前記支持ベースと前記可動体における所定の部位同士を接続する接続部材と、を備え、

前記接続部材は、前記可動体の移動に伴って、折り曲げられた状態と、その状態より伸ばされた状態と、に変化する、請求項 1 から 3 の何れか 1 の請求項に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、可動演出部材を備えた遊技機に関する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

特許文献 1 の遊技機では、バットを模した可動演出部材が回転する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

特許文献 1 の遊技機では、可動演出部材が単に移動するだけであり、可動演出部材の興趣に欠けるという問題があった。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

第 1 の手段は、可動演出部材を備えた遊技機において、前記可動演出部材を第 1 形態と前記第 1 形態とは前側から見た形状が異なる第 2 形態とに変化させる形態可変機構を備える遊技機である。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】